

序 文

福生市の文化財総合調査も二年目を迎えました。文化財の調査は時間と手間と根気のいる作業で、しかも地味な仕事です。郷土の歴史を明らかにしていくことは、そこに住み、生活している住民のさまざまな生き方が、時代の流れのひだを通して、明らかにされて行くことだとも思います。

特に「民俗調査」は、一人一人の生活を直接聞きながら、その地域の民衆の生活を介して、生活文化の源に流れるもの、いわば精神文化の側面にまでせまろうとするものだとも思います。そのことの意味は、特に都市化の中で、急激に地域が変わつて来ている福生の中では大変重要なことだとも思います。

本年、川鍋幸三郎先生（市文化財専門委員、福生第一中教諭）をはじめとし、何人かの市民の方々のご参加をいただいで「人生儀礼」の調査や、島田宇一先生（市文化財専門委員、明星高校教諭）、横浜国立大学建築科の方々に参加いただいた。「民家調査」の報告ができることを大変うれしくおもいます。同時に各調査班の方々や、ご協力をいただいた多くの市民の方々に礼申しあげます。

最後にこの小冊子が、多くの市民に読まれ郷土の研究や学習に活用されることを期待します。

一九七六年三月三十一日

福生市教育委員会

教育長

町

田

倍

二